

キーワード： 「確かな学力」を身につけた子どもをはぐくむ

学力向上に向けた取組

函館市立弥生小学校

1 課題

基礎的・基本的な学力の定着
望ましい学習態度・習慣の育成

2 課題解決の具体策

「わかる授業」の展開・TT支援体制の充実
自ら学び方を考える力の育成

朝学習の時間の活用と充実
家庭での学習習慣の定着

3 取組の概要

「わかる授業」の展開・TT支援体制の充実

学力学習状況調査（6年）及び、校内学力検査（2～5年）の実施と分析、日常授業の改善。

～分析結果の共通理解を通して、本校児童の大まかな傾向と課題を把握し、日常授業の改善に努めている。
全教員の協働指導体制による特別支援、及び算数・理科TT指導の実施。



自ら学び方を考える力の育成

体験的学習、問題解決的な学習、繰り返し指導の充実、補充・発展的学習の工夫。

～体験的学習や問題解決的な学習を通して、自らの学び方を考えさせると共に、繰り返し指導を重視した学習を展開し、基礎・基本の定着に努めている。

朝学習の時間の充実と活用

毎週火曜日を読書タイム、他の曜日を国語・算数の復習の時間として設定。

～読書に親しませると共に、国語と算数の繰り返し学習（プリント学習）を実施し、授業へのフィードバックを行いながら、充実に努めている。

家庭での学習習慣の定着

家庭での学習習慣の定着のために、家庭学習の奨励と各学級で宿題の実施。

～家庭学習の内容を紹介すると共に、習慣化のために家庭での協力を要請。全学級で宿題を出しながら、高学年での家庭学習の取り組みを奨励している。

4 成果と課題

本校児童の学力の傾向と課題を把握すると共に、全教員で日常授業の改善に努めることができた。その一つとして、朝学習や授業の中に反復練習の時間を設定することによって、国語や算数の練習量が増え、基礎・基本の力を確実に身に付けてきている。

基礎的・基本的な知識・技能の習得を進めながら、思考力・判断力・表現力等の育成・向上のための共通理解を深め、授業改善に努める。

個に応じたきめ細やかな学習指導の工夫と家庭での学習習慣の定着を図る。